

(人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

『NCNP ブレインバンク検体を用いた神経変性疾患の病態機序の解明』

本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【対象となる方】

NCNP の病理医により剖検にて診断が確定された神経変性疾患(多系統萎縮症、脊髄小脳変性症、パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症、大脳皮質基底核変性症、進行性核上性麻痺などの疾患を含む)患者と対象疾患患者。

【研究期間】

研究実施許可受領後(2023年5月1日)より2028年3月31日まで

【研究代表者】

- ・ 国立精神・神経医療研究センター病院 高橋祐二・脳神経内科部長
- ・ 長崎大学医歯薬学総合研究科 佐藤克也・医療科学専攻リハビリテーション科学講座 運動障害リハビリテーション分野 (神経内科学)教授

【研究責任者】

高橋 祐二(国立精神・神経医療研究センター・病院 脳神経内科診療部 部長)

【試料・情報の利用目的及び利用方法】

・研究の概要:本研究では、国立精神・神経医療研究センターの脳組織バンクで保存している剖検病理検体(脳・脊髄)を用いて、現在発症機序が不明で有効な治療法の乏しい神経変性疾患(多系統萎縮症、脊髄小脳変性症、パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症、大脳皮質基底核変性症、進行性核上性麻痺などの疾患を含む)の病態解明のための基礎的な研究を行います。すなわち、脳組織を免疫組織化学的方法および分子生物学的方法で解析し、疾患特異的バイオマーカーの候補分子の関与を検討し、神経変性疾患の病態を解明することを目的としています。また、長崎大学との共同研究において、神経変性疾患で脳に蓄積する異常たんぱく質の測定方法の開発をすることを目的としています。

本研究は、厚生労働省「臨床研究に関する倫理指針」に則って行われます。

・研究の対照:国立精神神経医療研究センターで病理解剖された剖検病理検体(脳・脊髄)を用います。神経変性疾患(多系統萎縮症、脊髄小脳変性症、パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症、大脳皮質基底核変性症、進行性核上性麻痺などの疾患を含む)100例、対照疾患 100例は、ご遺族から医学研究に使用

することの承諾を得ています。

- ・研究の意義：本研究により神経変性疾患の病態解明がさらに進むことが期待されます。
- ・研究の目的：神経変性疾患の病態を解明することが目的です。
- ・研究の方法：脳・脊髄組織を免疫組織化学的方法(分子をみえるようにする方法)、ウェスタンブロット法・RT-PCR法(たんぱく質レベルの発現解析)で解析し、病態解明をすすめます。また、異常タンパクを増幅する方法により脳に蓄積する異常タンパクの測定系の開発も進めます。
- ・期間：研究実施許可受領後(2023年5月1日)より2028年3月31日まで

本研究は「臨床研究に関する倫理指針」に則って公開いたします。

【利用又は提供する試料・情報等】

- 試料：国立精神・神経医療研究センターの脳組織バンクで保存している剖検病理検体(脳・脊髄)
- 情報等：診療録(年齢、性別、診断名、病理・画像検査の検査結果)

提供する試料・情報の取得の方法

- 試料：対象者の生前・死後に本人・遺族から医学研究目的の使用の同意を得たうえで採取。
- 情報：カルテの診療録から入手

【共同研究機関】

長崎大学医歯薬学総合研究科 研究責任者 佐藤克也

【共同研究機関以外の試料・情報を取り扱う機関】

なし

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院
所属 脳神経内科部長 氏名 高橋祐二
電話番号 042-341-2712(内線)3074

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局
e-mail: ml_rinrijimu@ncnp.go.jp